# アルミホイール製品　取付･取扱要領書

この度は弊社アルミホイールをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記品の取り付け要領と取り扱いについて記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け・取り扱いを実施して下さい。

■取り扱い上の注意

⚠ 警告（１）　本品を適合車種以外には使用しないで下さい。破損や故障により重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 警告（２）　車両への取り付け作業は平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキを掛けて行なって下さい。
不安定な場所での作業は重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 警告（３）　車両のハブボルトを良く点検し、錆、劣化のある場合は新品と交換して下さい。
そのまま使用した場合、破損や緩みにより重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 警告（４）　車両への取り付けの際はトルクレンチを用い、
車両の取扱説明書に記載の指定トルクに従って確実に締め付けて下さい。
ハブナット・ボルトの締め付け過ぎや締め付け不足がある場合、ホイール・ハブボルト等の変形やゆるみを
引き起こし、ホイール破損や脱落等、重大な事故に繋がる場合があります。
⚠ 警告（５）　装着直後はナット・ボルトが緩む場合があります。
100Ｋｍ程度の走行後に締め付けトルクの確認を実施して下さい。
⚠ 警告（６）　車両へ取り付け後、直進状態及びステアリングを一杯に切った状態でタイヤがボディーやブレーキホースに
干渉していないことを確認して下さい。干渉している場合は購入先へ連絡して下さい。
そのまま使用しますと破損や故障の原因となり、重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 警告（７）　急発進、急制動、急旋回等の無理な走行や乱暴な運転はお止め下さい。本商品に過剰な負担が掛かり、
損傷、故障の原因となるばかりで無く、重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 警告（８）　本品装着後に事故や衝突等で、ホイール・サスペンションに強い衝撃を受けた場合は、変形や破損を
生じている場合がありますので、使用を中止し、販売店にて点検を受けて下さい。
そのまま使用になりますと、重大な事故や故障の原因となる場合があります。
⚠ 警告（９）　本品への加工、改造は絶対に行なわないで下さい。重大な事故や故障を招くおそれがあります。
⚠ 警告（１０）走行中に異常な振動や異音を感じたら、直ちに安全な場所に停止して販売店にご相談して下さい。
そのまま走行を続けますと、重大な事故や故障を招くおそれがあります。
⚠ 警告（１１）運転支援装置が装備されている車両への装着の際は、当該車両の取扱書（トヨタ自動車(株)発行)の
運転支援装置に関する項をご覧の上、指示に従ってご使用下さい。
⚠ 注意（１）　本品の交換・取り付け作業は必ず販売店で行なって下さい。
その他の場所での交換・取り付け作業は商品の破損や重大な事故を招くおそれがあります。
⚠ 注意（２）　本商品到着後、直ぐに本体の損傷、付属品が全て揃っている事を確認して下さい。タイヤの組み付け作業時や
車両取り付け後に発覚したキズ・変形等のクレームには応じられない場合があります。
⚠ 注意（３）　他社製品による改造個所がある場合、本商品本来の性能を充分に発揮出来ない場合があります。
⚠ 注意（４）　本品の取り付け・交換の際は必ず当該車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って
作業を行って下さい。誤った取り付けは商品の破損や重大な事故・故障に繋がる場合があります。
⚠ 注意（５）　本品は保安基準適合商品ですが、他社商品との組み合わせによっては保安基準に適合しなくなる場合があります。
⚠ 注意（６）　本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管・取り扱い・使用条件によっては商品や車両に
重大な損傷を招くおそれがあります。
⚠ 注意（７）　上記事項と本書の装着手順をお守り下さい。取り付け作業や走行に伴い車両本体、又は本品が破損した場合の
クレームには応じかねます。

# 【装着前に】　（取付取扱要領）

## １．ホイールの確認

**■ホイールはサイズ・穴数・Ｐ.Ｃ.Ｄ・インセット・取り付け面形状・取り付けナット・ボルト座形等が装着する車両に適合している事を確認して下さい。**
**なお、左右には同サイズ同銘柄のホイール・タイヤを装着して下さい。**
**又、装着車に対しホイールの荷重値が不足している場合も装着は出来ません。**

⚠警告 左右毎に異なるサイズ・銘柄のホイールを混用すると操縦性・安定性が失われます。

## ２．タイヤの確認

**■標準サイズのタイヤから、径・扁平率が異なるタイヤに変更する場合は標準タイヤのロードインデックスを下回らないようにご注意下さい。**

⚠警告 装着されるタイヤのロードインデックス及び空気圧が下回っている場合、タイヤ破損のおそれがあります。

**■ホイールにタイヤを装着する場合、リム幅にあったタイヤを選択して下さい。**

⚠警告 リム幅に対して極端にタイヤ幅が狭い場合、ビード落ちやホイールの破損に繋がる場合があります。

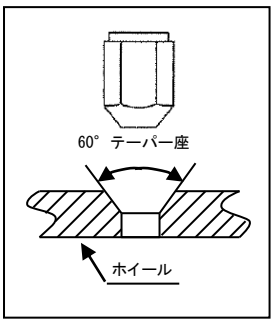
**■タイヤ装着後、冷間時に空気圧の確認を実施して下さい。商品に空気圧ラベルが同梱されている場合は、その指定の空気圧に､同梱されてない場合は、自動車メーカー、タイヤメーカー指定の空気圧に調整して下さい。**
**扁平率の低いタイヤの空気圧不足は見た目では判断が難しいため、後述の日常点検を実施して下さい。**

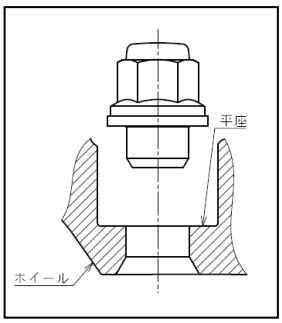
⚠警告 空気圧の不足はタイヤ負荷能力の低下、異常発熱等を起こし、タイヤの破損に繋がるおそれがあります。

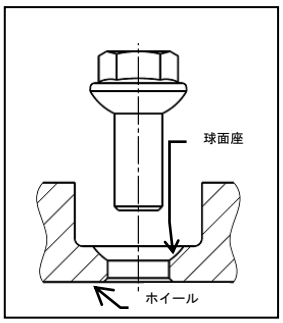
## ３．ハブナット・ボルトの確認

**■取り付け用のハブナット・ボルトは装着する車両のネジ径・ピッチを確認し、また必ずナット・ボルト座の合った物を使って下さい。**
**ホイールの取り付けナット・ボルト座は、テーパー座、平座、球面座等の種類があり、保証書に記載の取り付けナット・ボルト座より確認下さい。**

⚠警告 ホイールのナット・ボルト座と異なる座形状のナット・ボルトは絶対に使用しないで下さい。
形状が異なると十分な締め付けが出来ず、走行中に外れる事があります。




## ４．エアバルブの装着

**■エアバルブは、製品に同梱されている新品のバルブ部品を利用して取り付けて下さい。同梱されていない場合は、車両装着品と同様のものを装着下さい。**
**作業要領は修理書(トヨタ自動車(株)発行)をご確認下さい。**
**また、ゴムバルブ以外のバルブは以下の記載トルクで締め付けて下さい。**

＜スチールバルブの場合＞
エアバルブのホイール側ナットはトルクレンチを用いて指定トルクで締め付けて下さい。　**指定トルク：2N・m**

＜TPWS バルブの場合＞
・TPWS バルブのホイール側ナットはトルクレンチを用いて指定トルクで締め付けて下さい。　**指定トルク：4N・m**
・タイヤ組み換えの際に送信機とバルブを分解した場合は、バルブ締結ボルトをトルクレンチを用いて指定トルクで締め付けて下さい。　**指定トルク：1.2N・m**

⚠注意
・TPWS を取り外した際はシステムの初期化が必要となります。
システムの初期化に関しては修理書（トヨタ自動車(株)発行）を参照して下さい。

## ５．タイヤの組み付け

**■タイヤの組み付けの際は必ずタイヤ潤滑剤を使用して作業して下さい。**

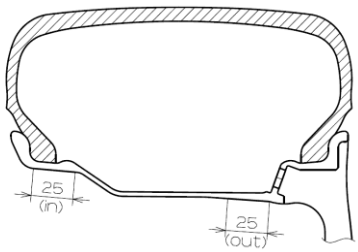
⚠注意
・タイヤ組み付けの際は、バルブ及びタイヤのビードを破損しないように十分注意下さい。

**■指定空気圧の充填はタイヤのビードがリムのビードシート周上に均等に載っている事を確認した上で行なって下さい。**

⚠警告 タイヤ組み付け時の空気充填は破裂の危険を避ける為、タイヤを安全囲いの中に入れる等、安全策を講じた上で行なって下さい。破裂等により重大な事故を招くおそれがあります。
空気充填後にタイヤとリムの勘合部、エアバルブ周辺より空気洩れが無いか確認して下さい。
洩れた状態で走行を続けますとタイヤ・ホイールを損傷する等の危険があります。

**■タイヤ組み付け後はバランス調整を実施して下さい。また、貼り付け式バランスウェイトの貼り付けはｉｎ、ｏｕｔともにホイールリム平面部の図中の範囲に貼り付けをお願いします。**

⚠警告 バランス不良は車両の振動や安定性を損ない、タイヤ偏磨耗の原因となる場合があります。

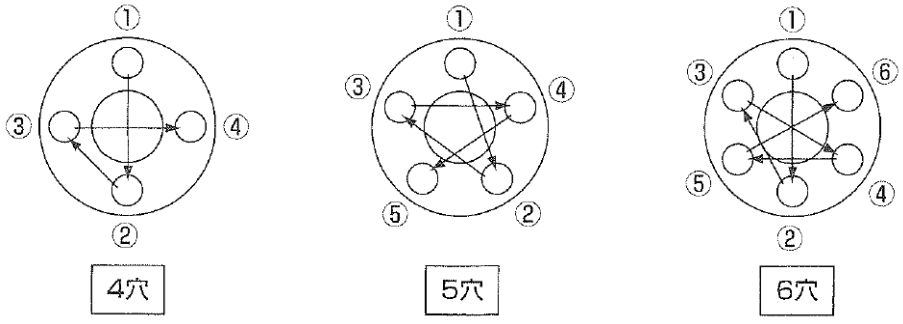



## ６．車両への装着

**■ハブナット・ボルトの締め付けは、下図の順序で仮締めを行い、その後トルクレンチを用いて、車両の取扱説明書に記載の指定トルクで均等に締め付けて下さい。**
**（参考締め付けトルク）Ｍ１２＝９０～１２０Nm、Ｍ１４＝１３０～１６０Nm**
**アダプターが製品に同梱されている場合は、同梱のアダプターを使用してナット・ボルトを締め付けて下さい。**

⚠警告 締め付けトルクが過多・不足の場合は座面の変形、緩みや外れの原因となります。
確実な締め付けを実施して下さい。
インパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。
車両ハブとホイールの間にスペーサー等を絶対に入れないで下さい。
ホイールの正常な機能を妨げると供に、ハブボルト破損等の危険があります。

＜ハブナット・ボルトの締め付け順序＞




# 【装着後に】

## １．装着後の確認

**■車両装着後、直進状態・ハンドルを左右一杯に切った状態で車体、サスペンション、ブレーキホース等に干渉していない事、タイヤが車体からはみだしていない事を確認して下さい。**

⚠警告 車体各部との干渉はタイヤ破損、ブレーキフルード洩れ等、重大事故の危険性があります。
タイヤがはみだした状態での一般道の走行は法令で禁止されています。

**■車両装着後、タイヤを回転させてホイールに貼り付けたバランスウェイトとブレーキキャリパーなどが干渉していない事を確認して下さい。**

## ２．装着後の走行

**■車両装着後やタイヤローテーション(装着位置の交換)をした後は、約１００ｋm走行後に**
**ハブナット・ボルトの締め付けトルクの確認を実施して下さい。**

⚠警告 走行中に異常な振動、音を感じたら安全な場所に停止し取り付けナットを確認して下さい。
そのまま走行を続けますと破損、脱落等、重大な事故を招く危険性があります。

**■舗道縁石、路面の大きな凸凹への乗上げはホイールの変形や亀裂を生じる場合がありますのでご注意下さい。**

⚠危険 舗装路の小さな段差でも速度が速いと受ける衝撃が大きくなる為、安全な速度に落として通過して下さい。
タイヤ・ホイールに変形や損傷を引起す事がありますので道路の縁石との接触・乗上げ、チャッターバー
(キャッツアイ)への乗上げ、凸凹路の高速走行は避けて下さい。衝突の回避等でやむをえず前記の状況
となった際は、販売店にてホイールの点検を受けて下さい。
そのままご使用になられますと、割れや亀裂の発生原因となります。

**■急発進、無用な急制動、急旋回はタイヤ・ホイールの変形に繋がりますのでお止め下さい。**

## ３．日常点検及び手入れ

**■運行前の日常点検において、ハブナット・ボルトに緩みがないか点検して下さい。**

⚠警告 ナット・ボルトの緩みはホイールの脱落の原因となるおそれがあります。

**■タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に１回以上実施して下さい。**
**低扁平タイヤの場合、２週間に１回、または長距離ドライブの前には必ず空気圧を点検して下さい。**

⚠警告　空気圧不足はタイヤの衝撃吸収性が低下しタイヤ・ホイールを痛める原因となります。

**■海辺や雪道走行後は、柔らかい布を使い水洗いを行ない、水分は完全に拭き取って下さい。**

⚠注意 塩分や泥が付着したまま放置しますと表面の光沢にムラやシミが発生する場合があります。
市販のホイールクリーナーはホイール、キャップ等を侵す事がありますので、説明書を
良く読んでからご使用下さい。

⚠注意 スポンジやコンパウンド、洗車機（スチーム洗浄、高圧洗浄含む）の使用は、ホイールや、
センターキャップを傷付ける事になるため、お止め下さい。

## 【その他の注意事項】

### １．センターキャップの取り付け

**■センターキャップは叩き入れないで、手で押し込んで下さい。衝撃を加えると破損の原因となります。**

### ２．樹脂加飾部品の取り扱いについて

**■ホイールに装着されている樹脂加飾部品の取り扱いについては、次のことを必ずお守り下さい。**
**お守りいただかないと、樹脂加飾部品またはホイールが損傷するおそれがあります。**

⚠注意　樹脂加飾部品を取り外さない。

⚠注意　樹脂加飾部品を持ってホイールを持ち上げたり、持ち運んだりしない。

**■樹脂加飾部品にガタつきがあったり、走行中にホイール周辺から異音が聞こえたりするときは**
**販売店でホイールの点検を受けて下さい。**

### ３．修理について

**■ホイール修正業者及びご自身による歪みの修理や塗色変更等の加工は絶対に行なわないで下さい。**

⚠警告 修理、加工を施しますと強度が低下し、空気洩れや破損に結び付き、重大事故となる場合があります。

### ４．保管について

**■タイヤ・ホイールの保管は洗浄後に十分乾燥させ、直射日光、雨、油分が付着せず、高温多湿の場所を**
**避けて保管して下さい。**
**空気圧を使用時の半分に下げ、重ねて置く場合はタイヤ同士が直接触れないように緩衝材をはさんで**
**保管して下さい。**

**■長期間の保管後に再使用する際には、販売店で各部の点検を実施してご使用下さい。**

⚠注意 タイヤとホイール意匠面が接触した状態で保管しますと、変色する場合があるため、ご注意下さい。

**株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント**
**TRD 商品問い合わせ窓口　TEL:050-3161-2121　https://www.trdparts.jp**
**モデリスタ商品問い合わせ窓口　TEL : 050-3161-1000　https://www.modellista.co.jp**